

歌集「次は君だよ」

菊池 陽著

岩手県の高校の国語教師として長く勤めてこられた菊池陽さんの第一歌集である。

菊池さんは父君とともに、岩手日報「日報文芸短歌」で入選を重ね、2008年に馬場あき子主宰の「かりん」に入会する。

私が初めて菊池さんにお会いしたのは、盛岡市の図書館で行われた新春歌会の時。優しく気さくなお人柄の方であった。

郷土の 本棚



ここでは本歌集のテーマを、三つに絞って考えていきたい。

まずは「生徒」である。

・難聴の生徒はいつも目を
見てる目で合図する次は君
だよ

・介護職に就きし教え子皆
たばこ吸いおりその身癒さ
んがため

その視線は、二首目に詠ま

て帰れと
・原発を認めるはみな過疎
の村まず目の前の生徒ぶゆ

え

・「燃えるごみ出すことさ
えも苦に」なっていた父を
知る短歌によりて

・家族皆来しこと耳に確か
めて父は静かに呼吸を止め
る

生徒や父、故郷への愛

一首目は、08年のかりん 一首目は短歌を通じて知

全国大会で、最高得点賞に った、年老いた父の姿であ

選ばれ、歌集のタイトルに る。二首目はその父の臨終
もなったものだ。難聴の生 の際である。端的な言葉で

徒の真つすぐなまなざしを 事実のみを淡々と詠んでい
受け止め、目で（心で）合 るが、読後に深い悲しみが

図する姿に、その生徒への 漂う。

思いの深さが読み取れる。 最後に「震災」である。

思慮深く、心配りのできる 教師であることがわかる。
・カランカラン釜石根浜に
鐘鳴らす不明の子らよ聞き

『次は君だよ』は、教え

子、家族、故郷への愛を詠
んだ歌集である。

(山口明子||本名・永山明
子、歌人 滝沢市)

(ツイッターリユニーション
・22222円)

第2、4日曜日に掲
載します。